

[野球] 東都大学野球

9季ぶり1部復帰 入替戦で日大を圧倒

東都大学野球秋季リーグ戦の1、2部入れ替え戦が11月5、6日、神宮球場で行われ、専大は日大に連勝し、02年秋季以来9季ぶりの1部復帰を果たした。

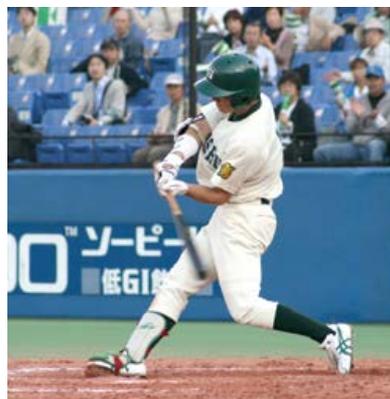
長谷高成泰監督就任から6季。就任直後から2季連続で入れ替え戦に出場するも、1部復帰を果たすことはできなかった。それから4季。ようやくつかんだ挑戦権を今度は逃さなかった。

松本哲也主将(経営4・山梨学院大付属高)を中心に一致団結し、春季3位の悔しさをバネに練習に取り組んだ。熱い夏を経て訪れた勝負の秋。リーグ戦では国士舘大に1敗を
▲長谷高監督を胸上げ、歓喜に沸くナイン
ただだけで、全対戦校から勝ち点を奪う完全優勝。”守り勝つ野球”を実践し、入れ替え戦への進出を決めた。

独特の雰囲気のためか、初戦はプレーに固さが見えたが粘り強く戦い12回裏、中田大志(経営3・高陽東高)のサヨナラヒットを呼び込んだ。

2戦目は緊張感から解放されたのか打撃陣が好調。秋月翼(経済1・佐久長聖高)のタイムリーに始まり、石倉剛史(商3・藤代高)、馬場強司(商2・東邦高)のホームランなどで7点を獲得。投手陣も7連続奪三振の長谷川樹(経営4・高陽東高)の好投などで2失点に抑えた。最後は、高々と上がったフライを平田拓郎(商4・日章学園高)がつかみ、ゲームセット。笑顔と涙の選手たちを観客は紙テープと校歌でたたえた。温かな空気が神宮を包んだ瞬間だった。この温かさに応えられるよう、来春はぜひ“専修旋風”を巻き起こしてほしい。

(田口 能成・経済2)



▲チームを引っ張った松本主将

▼入れ替え戦 1回戦

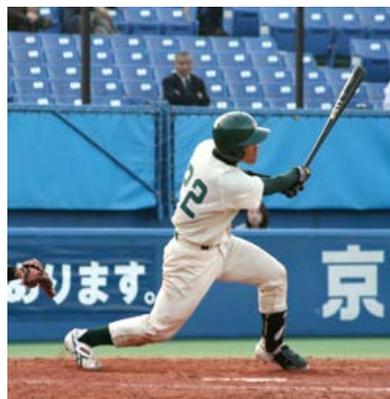
日大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
専大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1X	2

▼入れ替え戦 2回戦

専大	1	1	0	2	0	1	0	0	2	7
日大	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2

長谷高成泰 監督

主将を中心に4年次生たちがチームをまとめ、最後まで諦めず、良く頑張ってくれた。私生活の面でも野球の面でも、まだまだやるべきことがある。これで終わりではなく、来季に向けてしっかり鍛えていきたい。



▲1回戦でサヨナラヒットを放った中田

松本哲也 主将

本当にうれしいの一言。最後のリーグ戦で1部に上がれて良かった。4年次の自分たちが神宮で戦えないと分かっているけど、後輩たちにはプレーしてほしい。春の敗戦から厳しい練習を積み、入れ替え戦でもリーグ戦同様に気持ちを切らさず、一丸となって、粘り強くプレー出来たことが結果につながったのだと思う。一緒に頑張ってきた4年次生のみんなに感謝しています。



▲2回戦で好投した長谷川(樹)

[陸上競技] 箱根駅伝

63回目の箱根駅伝 予選会を2位で突破

座間、長谷川が快走

日ごろの成果を発揮

第83回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会が10月21日、立川市の国営昭和記念公園で行われた。合計タイム10時間12分43秒の2位で突破し、3年連続63回目の本大会出場の切符を手にした。

個人成績1位でゴールを駆け抜けたのはエース・座間紅柊(商3・藤沢翔陵高)。2位に15秒の差をつけて59分33秒でゴール。ケガのため今季初レースとなり、「気持ち良く走れたが、イメージ通りにはいかなかった」と話すが、頼もしい復帰となった。「体調万全で余裕を持って走れた」と語る長谷川淳(経済4・専大松戸高)も1時間4秒で個人5位。両エースがしっかりと役割を果たした。

上位10人の合計タイムで競うこの予選で、100位以内に計9人が食い込んだ。「レースでは初めての20キロ

だったが緊張はしなかった」という五ヶ谷宏司(経営1・専大松戸高)が個人22位となったのをはじめ、夏合宿から急成長をみせた井上直紀(商1・報徳学園高)、嬉野純平(経営1・諫早高)、田倍正貴(経済1・埼玉栄高)ら1年次生が力をつけ、新戦力として大きく貢献した。

「日ごろの成果が発揮出来た。さらに練習を積んで今度こそシード権を獲得したい」と高橋良輔主将(経済4・藤沢翔陵高)。また、加藤覚監督は「目標は6位以内だったので出来過ぎ。一人ひとりがしっかりと走ってくれた」と話し、「(箱根での)目標は9位。毎年シード権を目標にしているので今度こそは実現したい。力についてきているので波に乗れば上位を狙える」と語った。

(有馬 利香・商2)



▲「箱根」に向け、新たな闘志を燃やす部員たち



▲2位に15秒の差をつけ快走した座間



▲予選突破を喜ぶ選手たち



▲高橋良輔主将